

2016.6.30

中途採用実態調査 (2015年度実績)

株式会社リクルートホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:峰岸真澄)の人と組織に関する研究機関・リクルートワークス研究所では、民間企業における2015年度の中途採用実績に関する調査を行い、4,504社(回収率63.5%)より回答が得られましたので、ご報告いたします。

2015年度下半期においても採用難の状況が続く

2015年度の中途採用も引き続き採用難の状況が続いた。2015年度下半期における応募者の集めやすさについて、「集めにくかった」が前年同時期より微減したものの、「変わらない」が微増したこともあり、応募者の集めにくい状況は高止まりの状況と言える(→5ページ)。また、中途採用を実施した企業に対して人員を確保できなかった企業も前年同時期より増加し、2013年度下半期より上昇傾向が続いている(→6ページ)。

2015年度の中途採用実績は規模によって明暗が分かれる

採用難が続く中で、2015年度の採用実績は、対前年増減率+0.5%と微増となっている(→3ページ)。その背景を従業員規模別に見ると、300人未満の中小企業では前年より中途採用実績は減少しているが、300人以上の規模の大きい企業では前年より中途採用実績が2ケタと大きく増加している。規模によって明暗が分かれる背景として、中小企業では業績不振を背景に採用を抑制する企業と、採用意欲があったとしても採用難であるため採用できないことが背景にある。

採用難の中で建設業は未経験者も採用するが、医療・福祉、飲食店などは経験者中心

採用難が顕著な業種を中心に見ると、建設業は前年より採用実績数が減少したが、未経験者比率が高く、未経験者を含めてより広く採用している。一方、医療・福祉や飲食店においては、未経験者の比率があまり高くなく経験者採用が中心である(→4ページ)。中途採用の建設業については、資格が求められる職種が多く、経験者を中心とした採用が想定されるが、採用難が続く中で未経験者にも採用対象を広げていることがうかがえる。

INDEX

調査概要	2
2015年度の中途採用実績(対前年増減率)	3
2015年度の中途採用実績に占める未経験者の比率	4
2015年度下半期 中途採用における応募者の集めやすさ	5
2015年度下半期 中途採用における人員確保状況	6
2015年度 新卒・中途採用実績比率	7

【調査概要】

調査目的:全国の民間企業を対象に、正規社員の中途採用における求人動向を明らかにすること。

【2015年下半期調査】

調査対象:従業員規模5人以上の全国の民間企業 7,089社

調査項目:2015年度における中途採用状況、2015年度下半期における応募社の集めやすさ・人員確保の状況

調査期間:2016年2月9日～3月11日

回収社数:4,504社(回収率63.5%)

ただし、2015年度下半期の中途採用については、該当期に採用を実施した企業2,915社に限定して集計

回収方法:電話・FAXにて回収

〈調査結果を見る際の注意点〉

※%を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合があります

※業種別の表において、業種にその他の区分があるため、全体の合計社数が回答社数と一致しません

リクルートワークス研究所について

リクルートワークス研究所は、1999年1月に設立された、株式会社リクルートホールディングスの中にある「人」と「組織」に関する研究部門。

〈設立目的〉

リクルートグループの中・長期人材ビジネスの基礎研究。「人材マネジメント」や「労働市場」における情報発信・提言活動の推進。

2015年度の中途採用実績(対前年増減率)

2015年度の中途採用実績を対前年増減率で見ると、全体では-1.6%と採用実績人数は前年とほぼ同じである。

従業員規模別で見ると、5～299人企業で-4.0%と減少である一方、300人以上企業においては概ね2ケタの大幅な増加を見せている。中小企業で採用実績数が減少している背景として、一部企業では業績が低迷し採用数を減らしたことでなく、採用を実施しても人手不足が前年より進み採用できなかったことがある。

業種別に見ると、小売業(+29.6%)、運輸業(+20.7%)は他の業種よりも増減率が高い。こうした業種は人手不足に直面しており採用意欲は高いだけでなく、正規社員の中途採用に関しては、未経験者の採用や幅広い年齢層での採用を実施したことが高い増減率の背景にある。一方、金融業(-34.1%)、卸売業(-15.9%)、その他製造業(-6.9%)は対前年増減率が大きくマイナスとなっている。金融業では前年に十分に採用できた企業の反動によりマイナスに転じている。卸売業、その他製造業においては、中小企業を中心に2015年度に進行した円高などを背景とした業績低迷により、採用を減らす動きが見られた。

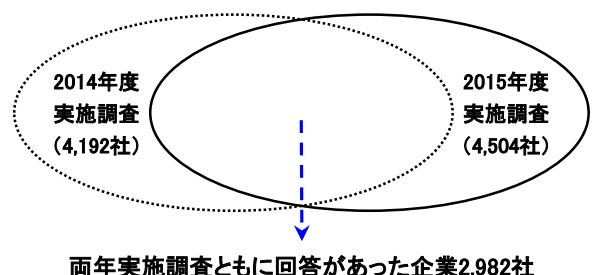
■2015年度の中途採用実績(対前年増減率)

		社数	2015年度 中途採用 増減率	【参考】1社当たり 中途採用人数(人)	
				2014年度	2015年度
全体		2982	-1.6%	1.29	1.27
規模別	5～299人	1429	-4.0%	1.13	1.08
	300～999人	898	11.1%	6.44	7.15
	1000～4999人	533	7.3%	18.47	19.82
	5000人以上	122	36.0%	33.78	45.94
業種別	建設業	218	-3.1%	1.15	1.11
	機械器具製造業	423	7.3%	1.35	1.45
	その他製造業	620	-6.9%	1.29	1.20
	情報通信業	198	1.4%	1.48	1.50
	運輸業	164	20.7%	1.57	1.89
	卸売業	315	-15.9%	1.25	1.05
	小売業	262	29.6%	1.00	1.30
	金融・保険業	230	-34.1%	1.51	1.00
	不動産業	52	-2.9%	1.67	1.63
	飲食店・宿泊業	104	5.3%	1.40	1.47
	医療・福祉	81	-2.9%	2.30	2.23
	その他サービス業	216	-3.6%	1.24	1.20

注) 従業員規模によってウェイトバックした値を掲載している

【参考】 中途採用実績の増減率 推計方法

中途採用実績数の集計は、2014年度実施調査および2015年度実施調査の両方に回答企業のうち、中途採用実績の人数が明確な企業を対象とした。よって、両年実施調査の有効回答企業のうち、2,982社を対象として集計を行った。



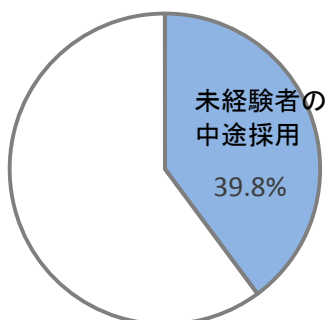
2015年度の中途採用実績に占める未経験者の比率

2015年度の中途採用(正規社員)実績に占める未経験者の比率を見ると、全体では39.8%が未経験者である。

従業員規模別に見ると、規模が小さくなるにつれて未経験者の比率が高まり、5000人以上では12.3%にすぎないのが、5~299人企業では42.9%となっている。

業種別に見ると、未経験者の比率が高いのは、建設業(58.5%)、その他サービス業(46.6%)、その他製造業(44.3%)などである。一方、未経験者の比率が低いのは、医療・福祉(26.2%)、金融・保険業(27.6%)などである。正規社員の採用においては、建設業、医療・福祉、金融・保険業はともに資格や実務経験が必要となる職種が多く、未経験者の採用比率が少ないと想定されるが、建設業では人手不足が深刻であり未経験者も含めて採用し、自社で育成していることがうかがえる。

■2015年度の中途採用実績に占める未経験者の比率



	社数	未経験者比率	【参考】	
			1社あたり中途採用人数(人)	1社あたり未経験者の中途採用人数(人)
全体	4204	39.8%	1.33	0.53
規模別	5~299人	42.9%	1.15	0.49
	300~999人	27.0%	8.03	2.17
	1000~4999人	19.2%	19.31	3.71
	5000人以上	12.3%	46.65	5.76
業種別	建設業	58.5%	0.94	0.55
	機械器具製造業	35.3%	1.56	0.55
	その他製造業	44.3%	1.15	0.51
	情報通信業	33.3%	1.71	0.57
	運輸業	30.4%	2.14	0.65
	卸売業	37.8%	1.19	0.45
	小売業	42.6%	1.22	0.52
	金融・保険業	27.6%	1.23	0.34
	不動産業	43.7%	1.90	0.83
	飲食店・宿泊業	31.5%	1.46	0.46
	医療・福祉	26.2%	2.52	0.66
	その他サービス業	46.6%	1.33	0.62

注) 集計は、中途採用を実施した企業、実施しなかった企業を含んでおり、1人当たりの人数は採用を実施していない企業を含んだ社数で平均を算出
注) 従業員規模によってウェイトバックした値を掲載している

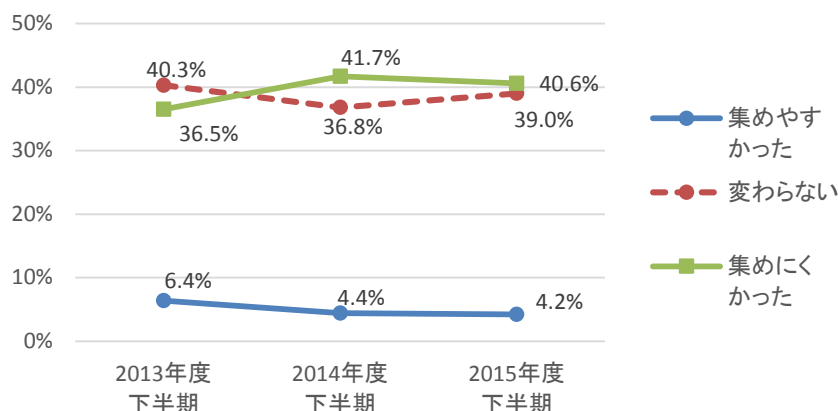
2015年度下半期 中途採用における応募者の集めやすさ

2015年度下半期における中途採用の応募の集めやすさは、「集めにくかった」が40.6%と、「集めやすかった」(4.2%)を大きく上回っている。また、「変わらない」は38.9%となっている。過去3年を比較すると、2015年度下半期の「集めにくかった」は2014年度下半期の41.7%より微減である一方、「変わらない」が微増となっている。応募者の集めにくい状況が続いており、高止まりの状況と言える。

従業員規模別に見ると、5～299人企業において、「集めにくかった」が他の規模よりもやや高い。

業種別に見ると、飲食店・宿泊業(52.6%)、医療・福祉(49.6%)、不動産業(49.1%)において「集めにくかった」が他の業種よりも高い一方、金融・保険業(24.3%)において「集めにくかった」が他の業種よりも低い。

■ 中途採用における応募者の集めやすさ 経年比較(同時期)



■ 2015年度下半期 中途採用における応募者の集めやすさ

		社数	集めやすかった	変わらない	集めにくかった	わからない	その他・無回答
全体		2915	4.2%	39.0%	40.6%	15.8%	0.4%
規模別	5～299人	1214	4.4%	37.8%	43.2%	14.3%	0.3%
	300～999人	843	4.2%	40.8%	39.6%	14.8%	0.6%
	1000～4999人	673	4.3%	37.9%	38.2%	19.3%	0.2%
	5000人以上	185	3.2%	42.7%	36.2%	16.8%	1.0%
業種別	建設業	217	2.8%	42.9%	42.4%	11.5%	0.5%
	機械器具製造業	488	3.7%	40.6%	38.5%	17.0%	0.2%
	その他製造業	597	5.0%	38.9%	37.4%	18.4%	0.4%
	情報通信業	205	2.9%	34.1%	42.0%	19.5%	1.5%
	運輸業	163	3.7%	39.3%	45.4%	11.0%	0.6%
	卸売業	263	4.2%	43.7%	38.8%	12.9%	0.4%
	小売業	229	5.7%	35.8%	41.5%	17.0%	-
	金融・保険業	140	4.3%	45.7%	24.3%	25.7%	-
	不動産業	57	5.3%	29.8%	49.1%	15.8%	-
	飲食店・宿泊業	116	3.4%	33.6%	52.6%	10.3%	-
	医療・福祉	141	2.1%	41.8%	49.6%	5.7%	0.7%
	教育・学習支援業	30	3.3%	46.7%	33.3%	16.7%	-
	その他サービス業	231	6.1%	32.9%	45.0%	15.2%	0.9%

注) 2015年度下半期(2015年10月～2016年3月)において、中途採用を実施した企業を集計対象とした

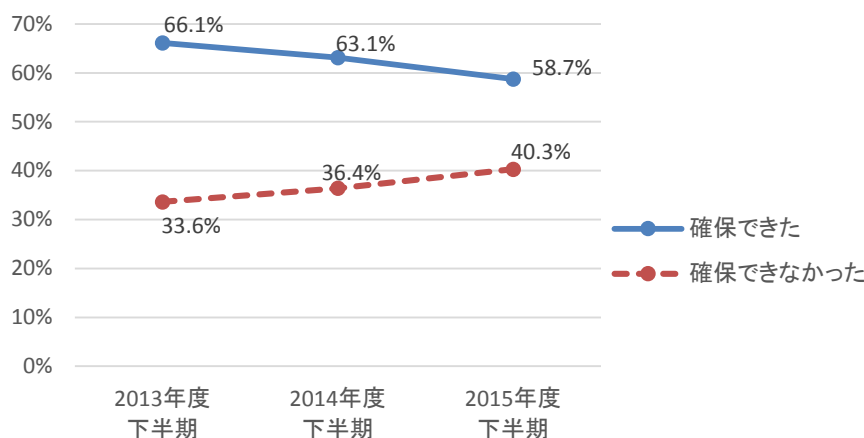
2015年度下半期 中途採用における確保状況

2015年度下半期の中途採用(正規社員)において、人数を「確保できなかった」と回答した企業が40.3%と、過去3年の同時期と比べて最も高くなっている。

従業員規模別に見ると、人数を「確保できなかった」の割合は大きく変わらないが、5~299人において他の規模よりも、割合が高い。

業種別に見ると、人数を「確保できなかった」の割合が高いのは、医療・福祉(51.8%)、飲食店・宿泊業(50.9%)、建設業(49.3%)などであり、人手不足がより深刻な業界において、正規社員の中途採用も厳しい状況がうかがえる。

■ 中途採用における人員確保状況 経年比較



■ 2015年度下半期 中途採用における人員確保状況

		社数	確保できた	確保できなかった	無回答
全体		2915	58.7%	40.3%	1.0%
規模別	5~299人	1214	57.0%	42.5%	0.5%
	300~999人	843	60.4%	38.4%	1.2%
	1000~4999人	673	59.7%	38.9%	1.3%
	5000人以上	185	57.3%	39.5%	3.2%
業種別	建設業	217	50.2%	49.3%	0.5%
	機械器具製造業	488	57.2%	42.2%	0.6%
	その他製造業	597	65.0%	34.0%	1.0%
	情報通信業	205	50.2%	47.3%	2.4%
	運輸業	163	49.7%	48.5%	1.8%
	卸売業	263	73.0%	26.6%	0.4%
	小売業	229	56.8%	42.8%	0.4%
	金融・保険業	140	67.9%	32.1%	-
	不動産業	57	68.4%	28.1%	3.5%
	飲食店・宿泊業	116	48.3%	50.9%	0.9%
	医療・福祉	141	47.5%	51.8%	0.7%
	教育・学習支援業	30	70.0%	30.0%	-
	その他サービス業	231	57.1%	40.7%	2.2%

注) 2015年度下半期(2015年10月~2016年3月)において、中途採用を実施した企業を集計対象とした

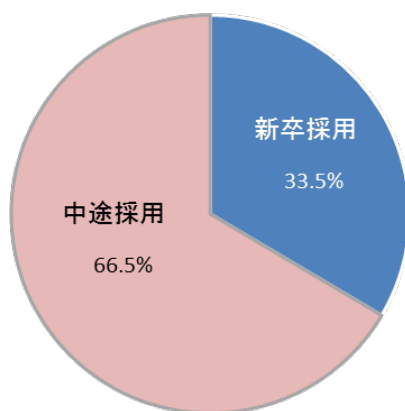
2015年度 新卒・中途採用実績比率

2015年度の採用において、新卒採用(大学生・大学院生)と中途採用(正規社員)の実績人数の比率を見ると、新卒採用は33.5%となっており、正規社員の採用のうちおよそ3割は新卒採用によって確保している。

従業員規模別にみると、規模が小さくなるにつれ、中途採用比率が高まり、300人以上企業においては3割から4割程度であるが、5~299人企業においては79.3%となっており、中小企業ほど中途採用を中心にしていると言える。

業種別にみると、中途採用比率が高いのは、医療・福祉(91.6%)、運輸業(84.3%)、建設業(77.0%)、その他サービス業(76.9%)などである。資格などの専門性が求められる業界において中途採用比率が高い。その一方、新卒採用比率が高いのは金融・保険業(新卒採用比率68.3%)であり、自社内での育成体制がよりしっかりしているだけでなく、新卒採用において採用力が比較的高いことがその背景にあるといえる。

■2015年度 新卒・中途採用実績比率



	社数	新卒採用比率	中途採用比率	【参考】		
				1社あたり新卒採用人数(人)	1社あたり中途採用人数(人)	
全体	4204	33.5%	66.5%	0.67	1.33	
規模別	5~299人	20.7%	79.3%	0.30	1.15	
	300~999人	58.7%	41.3%	11.39	8.03	
	1000~4999人	782	64.9%	35.1%	35.69	19.31
	5000人以上	195	71.6%	28.4%	117.71	46.65
業種別	建設業	317	23.0%	77.0%	0.28	0.94
	機械器具製造業	594	43.3%	56.7%	1.19	1.56
	その他製造業	862	37.2%	62.8%	0.68	1.15
	情報通信業	283	48.8%	51.2%	1.63	1.71
	運輸業	227	15.7%	84.3%	0.40	2.14
	卸売業	408	34.6%	65.4%	0.63	1.19
	小売業	376	37.1%	62.9%	0.72	1.22
	金融・保険業	295	68.3%	31.7%	2.65	1.23
	不動産業	79	25.2%	74.8%	0.64	1.90
	飲食店・宿泊業	152	24.4%	75.6%	0.47	1.46
	医療・福祉	148	8.4%	91.6%	0.23	2.52
	その他サービス業	322	23.1%	76.9%	0.40	1.33

注)新卒採用は大学生・大学院生(2016年卒)、中途採用は正規社員を対象とした人数である

注)集計は、新卒採用・中途採用を実施した企業、実施しなかった企業を含んでおり、1人当たりの人数は

採用を実施していない企業を含んだ社数で平均を算出

注)従業員規模によってウェイトバックした値を掲載している